

宇宙のむくむく



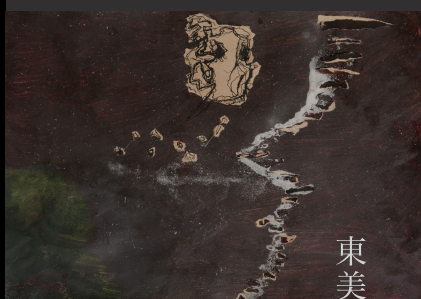
西澤彰



中崎強



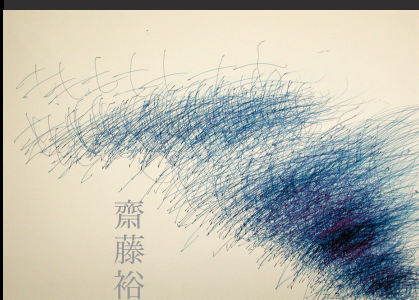
露木恵子



東美名子



長塚均



齋藤裕一



尾ヶ井保秋

もうひとつの美術館

2016年 2月27日(土) — 5月22日(日)

■休館日
毎週月曜日

〔但し3/21(振替休日)
は開館し、
3/22は休館します。〕

■展示場所・事務局
もうひとつの美術館
〒324-0618
栃木県那須郡那珂川町小口
1181-2

■主催
認定特定非営利活動法人
もうひとつの美術館
tel/fax 0287-92-8088
<http://www.mobnmuseum.org/>

■出展作家
尾ヶ井保秋 齋藤裕一
田鶴濱洋一郎 露木恵子
中崎強 長塚均 西澤彰
野口徳雄 東美名子

■入場料
大人…700円 大学生…500円
小中高生…70歳以上・障害者・
重度の方付添…300円 団体
20名以上…10%割引(要予約)

■協力
サイモン順子、(社福)毛呂
病院 光の家療育センター、
烏山和紙会館、長重之、
(社福)みぬま福祉会 工房集

■出展作家

尾ヶ井 保秋(おがいでやすあき) 1956年生まれ

12才の時に光の家に入所。41才から絵を描き始める。何色にしようか、どんなふう
に塗ろうかキャンパスの前で考えている時がワクワクする。緊張が強くて思い通りに
手が動かないが手の甲や筆を握って想いをキャンパスにこめるように描いてい
る。週に一時間のペースで5ヶ月くらいかけて一枚の絵を仕上げる。

齋藤 裕一(さいとう ゆういち) 1983年生まれ 工房集所属

他のメンバーが仕事に取り掛かる頃「仕事しようかな～」と、アトリエやダイニング
を行ったり来たりしてきっかけを待つ。立ったり座ったり、数分から数十分ほど集
中して描くのは、その日楽しみにしているTV番組名である。

田鶴濱 洋一郎(たつるはま よういちろう) 1949年生まれ

茂木町にアトリエを持ち、そこで墨を使つての制作をする。東京都在住。グループ
展、個展も多数。韓国、ベトナムなどでの交流展へも参加している。昨年は東 美名
子との二人展も開催した。

露木 恵子(つゆき けいこ) 1943年生まれ

東京藝術大学大学院修士課程日本画専攻修了。2008年に長年務めた宇都宮大
学を定年退官したが、その後も「雲に乗って」シリーズの制作を続け、今回はその
新作を出展。

長塚 均(ながつか ひとし) 1959年 - 2011年

2011年の「第2回なかがわまちアートフォレスタ2011」に作品を応募し、入選した
。作品の多くは抽象画であるが、作品「空(くう)」は、凜とした空気を感ぜさせ、彼の
新しい展開と期待されたが、その年の暮れに急死し、作品「空」は絶筆となつてし
まった。

中崎 強(なかざき つよし) 1963年生まれ

7才の時に光の家に入所。36才から動かしやすい左足で描き始める。38才の時に
二科展に入選。昨年、川越市立美術館で初の個展を開催。お父さんと見に行った
風景や思い出を絵にしている。週に一時間のペースで6ヶ月くらいかけて一枚の絵
を仕上げる。

西澤 彰(にしざわ あきら) 1969年生まれ

近くにあった飛行場から離着陸する前後の小型飛行機を、いろいろな角度から、
きわめてリアルに描いている。鉛筆、クレパス、水彩絵具などを使い、空き箱などの
吸水性のある厚紙の裏面に西澤の世界が広がる。

野口 徳雄(のぐちとくお) 1974年生まれ

私にとって、見えないものを見る行為である“art”は、生きる思いであり、生きる力で
ある。それは「いき(粋)」という言葉に集約されている。いきが示すものは、行くこと
の行き、呼吸の息、生きるの生き、心の意気である。そして、このいきというものは現
実に存在せず、これを存在させるものが“art”である。この“art”が成すものは、因
果、拮抗の関係を内包した循環であり、あらゆるものの結びとなる出会いである。

東 美名子(ひがし みなこ) 1985年生まれ

1996年よりアトリエ・ポレポレに参加して、絵画制作を開始する。大胆な構図と詩
情に満ちた独特の作風の中には、深い情感も込められて、作品は吸い込まれるよ
うに美しい。

イベント

EVENTS

●傘カラフルワークショップ

日 時：3月20日(日) 13:30-15:30

場 所：ワークショップ室

講 師：露木恵子(本展出展作家)

参加料：1,000円(材料費込み)

●妻木律子 ダンスワークショップ 初心者もOK! みんなで楽しくダンス

日 時：3月27日(日) 13:30-15:30

場 所：ワークショップ室

講 師：妻木律子 <http://www.tsumaki-ritsuko.org/>

参加料：大人1,000円+当日入館料 / 子供 500円+当日入館料

●色いろ遊ぼうワークショップ

日 時：5月1日(日) 13:30-15:30

場 所：ワークショップ室

ナビゲーター：サイモン順子(アトリエ・ポレポレ ファシリテーター)

参 加 料：1,000円(材料費込み)

*講師の都合で日にちが変更になることがあります。

*いただいた個人情報は、本事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

*イベントの申込み・お問合せはもうひとつの美術館(0287-92-8088)まで。

◎次回展覧会のお知らせ 2016年6月11日(土) — 9月4日(日) サマーフォーラム2016「るんびにふたつ」展(仮題)◎

「もうひとつの美術館」は、栃木県那珂川町の里山に建つ明治大正の面影を残す旧
小口小学校の校舎を再利用して2001年に開設された小さな美術館です。ハンディキ
ャップを持つ人の芸術活動をサポートしながら、[みんながアーティスト、すべてはアート]
をコンセプトに、年齢・国籍・障害の有無・専門家であるなしを超え、アートを核に
地域・場所や領域をつないでいく活動を行っています。春・夏・秋の年3回の企画展を
中心に、様々なイベント・ワークショップを開催しています。

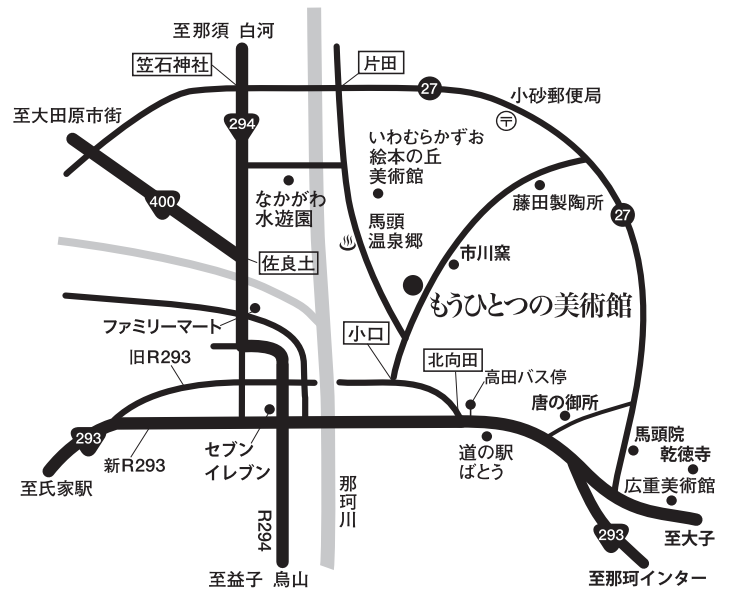
もうひとつの美術館は、NPO法人として自主企画・運営を行っており、建物の維持・
管理を含め、会員の会費、寄付、入館料によって支えられています。

会員、ご寄付いただける法人・個人、ボランティアなどのサポーターを募集しています。
2013年1月より、もうひとつの美術館は認定NPO法人として認定され、ご寄付いた
だくと「特定寄付金」としての寄付金控除を受けることができます。

●ゆうちょ銀行 記号番号 00160-9-535731 ●加入者名 もうひとつの美術館



右側の建物(明治36年竣工)の屋根は、平成26年度日本郵便の年賀寄付金の助成を受けて改修しました。



●交通

JR東北本線氏家駅から東野バス馬頭行き「高田」下車徒歩25分、道の駅ば
とうからタクシーで10分 | JR烏山線烏山駅から那珂川町コミュニティバス
馬頭烏山線「道の駅ばとう」下車、道の駅ばとうからタクシーで10分
東北自動車道「宇都宮」ICより60分、「矢板」ICより50分
常磐自動車道「那珂」ICより60分

もうひとつの美術館

MOB museum of Alternative Art, Nakagawa
〒324-0618 栃木県那須郡那珂川町小口1181-2 | mob@nactv.ne.jp